

## 2018年 第7回 日本高校生パーラメンタリーディベート連盟杯

## 【シドニー工科大学語学研修】報告書

教育奨励賞 提供：iae Global Japan 株式会社

さいたま市立浦和高校3年 西川百合子・三橋壮太・小淵圭悟

私たち市立浦和高校3名は、第7回日本高校生パーラメンタリーディベート連盟杯において準優勝し、その副賞（2018年 iae GLOBAL Japan 賞）として、シドニー工科大学での1週間の語学研修に参加させて頂きました。研修のスケジュールは午前中に英語のレッスン、午後はシドニー工科大学（UTS）のキャンパス見学と市内研修という内容でした。

午前中の英語のレッスンでは、日本での一般的な英語の授業とは異なり、実践的に英語をアウトプットしていく活動が主な目的でした。数分の準備時間で、おすすめの街についてプレゼンをし、簡単なトピックでディベートをするなど即興的なスピーチ練習と、効果的なプレゼンテーションの仕方を教わりました。適切なスピードで話すことや、抑揚の付け方、効果的なジェスチャーなどスピーチ中のスタイルを見直す貴重な機会となりました。日本では経験できないレッスンを少人数で受講できたことは、本当に恵まれたことだと感謝しております。

また、午後の UTS のキャンパス見学では、学内の至る所で AI などの最新テクノロジーが実生活で活用されている場面を体験することができました。例えば、建物のセンサーが自動的に中にいる人数等を察知し、常に過ごしやすい気温や湿度を維持しているのです。また、犯罪分析時の指紋特定方法の体験学習では、実際に特殊な粉を用いてコップに付けた自分の指紋を浮かび上がらせるという経験もさせて頂きました。UTS は犯罪の現場検証における研究では最先端だと伺い、日常では決して経験できない有意義な時間を過ごすことができました。

国際交流も大きな目的の1つでした。共に研修を受けていたベトナムの高校生と親交を深めることができました。互いに母国語は異なりますが、英語を学んでいたからこそコミュニケーションができるのだと、英語が国際語だということを実感しました。オーストラリアとベトナムといった異文化交流を通して、新しい先生方や仲間を海外に作る事ができたと考えています。

この研修を通し、語学力向上だけでなく、国際感覚も養うことができ、自らの視野を広げることができました。国際的に役に立つ仕事に将来就きたいと漠然と考えていたことが、より具体的に強めることができたと考えています。このような素晴らしい機会を提供して頂いたことに感謝し、ここでの経験を次は自分の後輩や、パーラメンタリーディベートの普及、そしてディベートコミュニティーに伝えることができたかと考えています。HPDU of Japan の役員の方々、iae のスタッフの方々、UTS でお世話になった先生方をはじめとする援助を頂いた方々全員に、本当に感謝をしております。どうもありがとうございました。



【写真左】毎日 9:00~1:00 は英語の授業でした。

【写真右】修了式にて、共に学んだベトナムの生徒と共に。